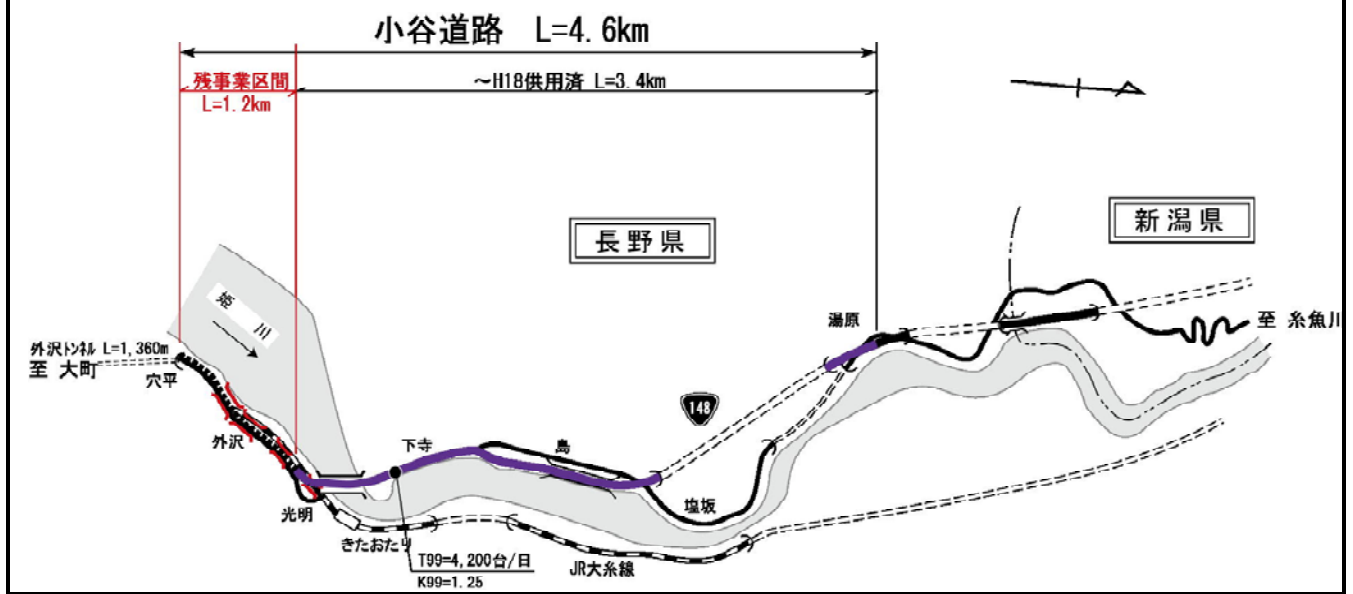


再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	一般国道148号 <small>おたりどうろ</small> 小谷道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局	
起終点	自：長野県北安曇郡小谷村大字北小谷字穴平 <small>きたあずみ おたり きたおたり あなたいら</small> 至：長野県北安曇郡小谷村大字北小谷字下平 <small>きたあずみ おたり きたおたり しもたいら</small>				延長	4.6 km	
事業概要	当該事業は、「道路幾何構造上の問題箇所の解消」「冬期通行障害の解消」「地域の活性化、物流効率化の支援」を目的として、国道148号の長野県北安曇郡小谷村大字北小谷字穴平から字下平間の延長4.6kmについて道路整備を行うものであり、現在、早期完成供用に向けて事業を実施中である。						
S 63 年度事業化	H - 年度都市計画決定 (H - 年度変更)		H 元 年度用地着手		H 元 年度工事着手		
全体事業費	225 億円		事業進捗率	74 %		供用済延長	3.4 km
計画交通量	6,000台/日						
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年	
	(事業全体) 1.1	(残事業)/(事業全体) 46 / 300 億円		(残事業)/(事業全体) 59 / 341 億円		H19 年	
	(既供用区間を除く) 1.2	事業費：45 / 292 億円		走行時間短縮便益：56/321億円			
	(残事業) 1.3	維持管理費：1.5 / 7.8億円		走行経費減少便益：3.1 / 19億円 交通事故減少便益：0.12 / 1.5億円			
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.2~1.4（交通量±10%） 事業費変動：B/C=1.2~1.5（事業費±10%） 事業期間変動：B/C=1.2~1.4（事業期間±1年）						
事業の効果等	・物流効率化の支援（現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する。） ・災害への備え（現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する。） 他6項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見	平成10~18年「小谷道路の早期整備要望」（国道148号整備促進期成同盟会（糸魚川市、小谷村、大町市、白馬村））						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	当該事業区間の平日交通量は増加傾向にあり、特に大型車交通量の増加が著しい。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	事業の進捗状況：平成18年度末で事業費167億円、進捗率74%、そのうち用地費は2.6億円で進捗率90%。 残事業の内容：未供用区間L=1.2kmの整備。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今後の事業の見通し：残る穴平~光明の改良を、平成20年代半ばの完成供用を目標として推進する。						
施設の構造や工法の変更等	施工にあたり、新技術（軽量盛土工法等）、コンクリート構造物の大型化（長尺化）、プレキャストの積極的な活用、建設発生土の有効活用、再生材を利用した舗装、路盤工の施工により、建設コスト縮減を図る。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	事業の効果並びに事業の実施状況を踏まえ、事業の継続が妥当である。						

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。